

【新規】	ひきこもり支援推進事業	予算額	19,118 千円
【既定】	生活困窮者等自立促進支援事業	予算額	120,158 千円

事業の目的・概要

ひきこもり状態にある当事者が社会的孤立や経済的困窮に陥ることのないよう、社会とのつながりを回復・維持するため、当事者及びその家族に必要な支援を行います。

また、子どもたちに向けて、貧困の連鎖を防ぐため、生活困窮世帯の子どものほか、不登校などで学習困難な状況にある子どもを対象に、学習支援や社会性の獲得に向けた支援を行います。

主な取組内容

➤ ひきこもり支援推進事業

新規

これまでの取組に加えて、ひきこもり状態にある当事者一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細やかなサポートを行う相談支援事業を実施します。

また、居場所づくり事業を行うなかで、当事者及びその家族に安心できる場を提供し、そこでの活動や懇談を通じて、社会との関係を回復する機会を設け、当事者がその人なりの社会復帰を目指すことを支援します。

さらに、ひきこもりに関する広報・普及啓発活動、当事者会・家族会への支援、地域における連携ネットワークの構築を一体的に行うことで、当事者及びその家族の福祉の増進を図ります。

➤ 子どもの学習等支援事業

拡充

学習支援の取組では、子どもの状況に合わせて、授業の補習や高校の受験指導、中退防止指導をするほか、必要に応じて保護者も対象にした集団・個別指導を行うなど、学習環境の整っていない子どもに対し、自ら学ぶ習慣を身に付けるための支援を行います。

居場所の取組では、ひきこもりや不登校などにより、他者との関係性を構築できない子どもに対し、集団での季節的行事等のほか、個別指導を通じ、コミュニケーション能力の育成や成功体験により自己肯定感を高めるなど、社会性向上につながる支援を行います。

現在、区内1か所で開催しているこれらの取組について、地域のバランスに配慮しながら、区内3か所に拡充を図ります。